

第73期中間報告書

KONDOTEC REPORT

2024年4月1日～2024年9月30日



コンドーテック株式会社

証券コード 7438

コンドーテック株式会社は、
大阪・関西万博の
催事パートナーです。



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第73期中間期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月



代表取締役会長

近藤 勝彦

代表取締役社長

濱野 昇

当中間期の連結経営成績

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費や民間設備投資に持ち直しの動きがみられ、企業収益や雇用情勢にも改善がみられるなど、緩やかに回復してまいりました。しかしながら、円安の継続、資材価格及びエネルギー価格の高止まりなどにより、景気や企業収益は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、公共投資が堅調に推移していることに加え、民間設備投資に持ち直しの動きがみられるものの、住宅投資が横ばいとなるなど、分野によって濃淡がある状況となっております。

このような状況のもとで、当社グループは、新規販売先の開拓や休眠顧客の掘り起こし、新商材の拡販、拠点展開などの成長戦略に取り組んでまいりました。また、2024年9月に上田建設株式会社の子会社化を決定するなど、当社グループの成長を加速するM&Aも推進しております。なお、上田建設株式会社の子会社化は2024年10月に完了しております。

以上の結果、大型物件を中心に需要を取り込んだことにより、当中間連結会計期間の売上高は38,640百万円(前年同期比2.0%増)と増収になりました。

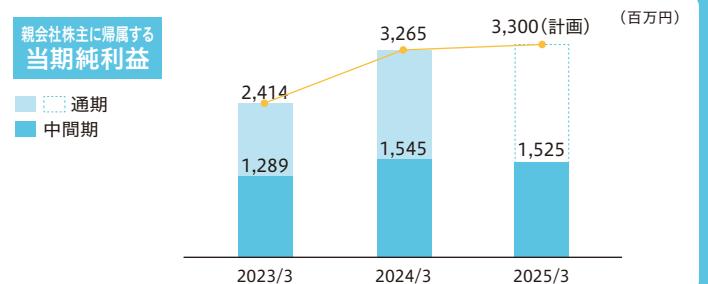
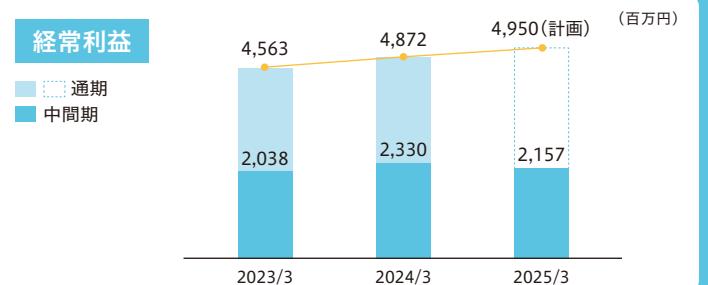
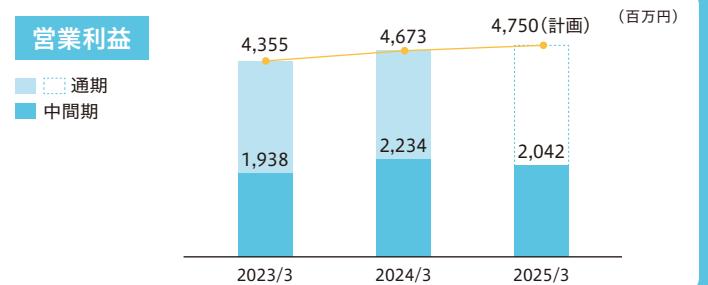
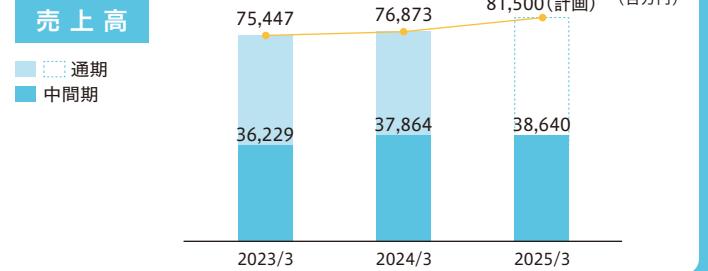
利益面につきましては、売上総利益率がやや悪化したことに加え、運賃や人件費を中心とする販売費及び一般管理費の増加などを増収効果で吸収しきれず、営業利益は2,042百万円(同8.6%減)、経常利益は2,157百万円(同7.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,525百万円(同1.3%減)と減益になりました。

売上高
386億40百万円
(前年同期比 +2.0%)

営業利益
20億42百万円
(前年同期比 △8.6%)

経常利益
21億57百万円
(前年同期比 △7.4%)

親会社株主に帰属する
中間純利益
15億25百万円
(前年同期比 △1.3%)



セグメント別業績

産業資材

183億40百万円
(前年同期比 +0.7%)

売上構成比 **47.5%**

一部の分野で競合他社との価格競争の激化により販売価格が伸び悩んだものの、公共投資や大型物件が好調に推移したことに伴い販売数量が増加した結果、増収となりました。

主な製品・商品
ターンバックル、シャックル、足場吊りチェーン、丸セパレーター、ワイヤロープ、コンテナバグ 他



足場吊りチェーン 橋での使用例

鉄構資材

107億12百万円
(前年同期比 +2.3%)

売上構成比 **27.7%**

大型物件が好調に推移する一方で中小物件が停滞したことに伴い販売数量が伸び悩んだものの、需要が堅調な大型物件の比率が増加し販売価格が上昇した結果、増収となりました。

主な製品・商品
ブレース、アンカーボルト、ハイテンションボルト、ボルトナット類、鉄骨部材、施工工事 他



アンカーボルト 建設現場での使用例

電設資材

55億51百万円
(前年同期比 +13.8%)

売上構成比 **14.4%**

照明関係や電線・配管類の大口物件、酷暑によるルームエアコン等の空調関係の増加に加え、仕入先メーカーの値上げ等による販売単価の上昇も重なり、照明、電線、空調売上が大幅に増加した結果、増収となりました。

主な製品・商品
照明器具、空調機器、換気扇、分電盤、電線ケーブル、配線器具、エコキュート、太陽光発電機器、家電機器 他



空調機器 店舗での使用例

足場工事

40億34百万円
(前年同期比 △6.0%)

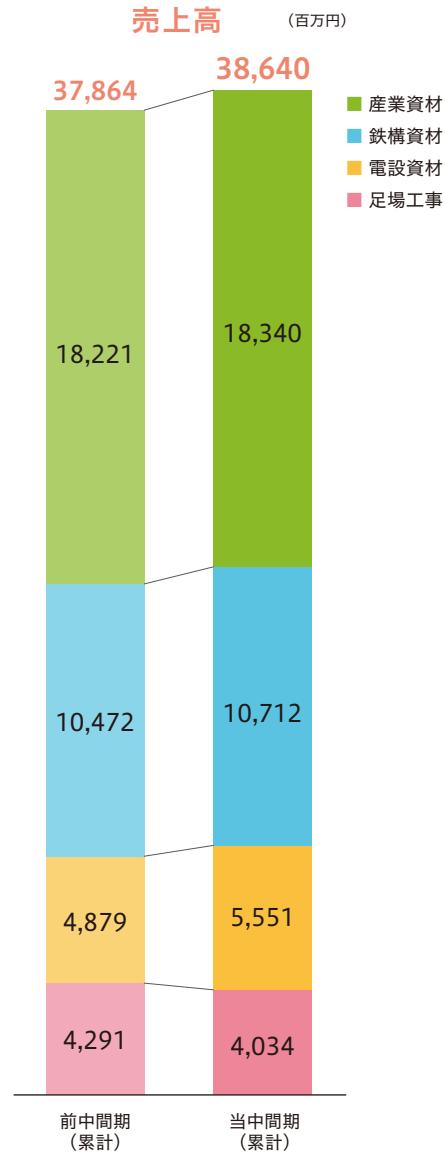
売上構成比 **10.4%**

公共投資や民間建築投資が堅調に推移する中、大型物件向け工事売上が好調に推移したことに加え、足場機材価格の上昇に伴うレンタル需要の増加によりレンタル売上も好調に推移したものの、前期の大口販売案件の反動減があった結果、減収となりました。

主な製品・商品
足場架組工事、仮設足場機材の販売 他



足場工事施工例



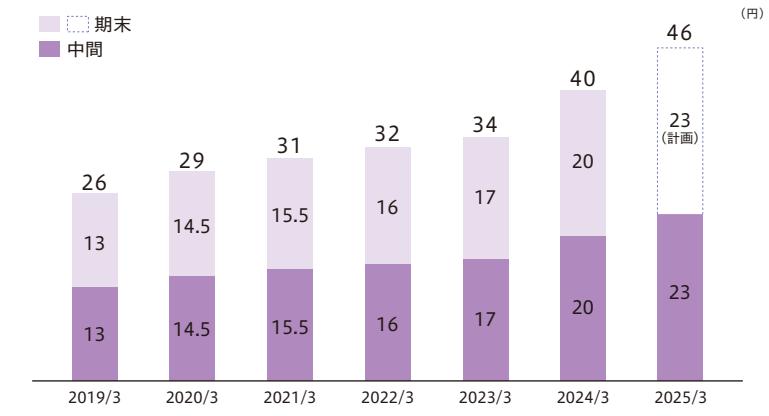
通期の見通し

2025年3月期の連結業績予想

売上高 815億円 (前期比 +6.0%)	営業利益 47億50百万円 (前期比 +1.6%)
経常利益 49億50百万円 (前期比 +1.6%)	親会社株主に帰属する 当期純利益 33億円 (前期比 +1.0%)

配当金

当期配当(2025年3月期)	中間配当	23円
	期末配当予想	23円



TOPIC 1 上田建設株式会社のグループ化による仮設足場事業の基盤強化と拡大

2024年10月に、当社連結子会社である日本足場ホールディングス株式会社は、土木建築用足場等の架組工事業及び機械器具設置工事業を営む上田建設株式会社の全株式を取得し、当社グループの子会社といたしました。同社は、北海道地方を中心にプラント工事現場等で使用される仮設足場の架組工事分野で、強固な顧客基盤を構築しています。

今後も堅調な需要が見込まれるプラント工事現場等向け仮設足場の架組工事分野における事業基盤を獲得するとともに、当社グループ会社との協業を通じ、仮設足場工事分野のさらなる事業拡大が期待できます。

今後もコンドレーテックグループ一丸となって、さらなる企業価値向上を目指します。



コンドレーテック(株) 濱野社長 上田建設(株) 上田社長 日本足場HD(株) 江尻社長

名 称	上田建設株式会社
所 在 地	北海道苫小牧市ときわ町三丁目7番5号
事 業 内 容	土木建築用足場等の架組工事業及び機械器具設置工事業
従 業 員 数	14名

TOPIC 2 日経IR・個人投資家フェア2024へ出展



2024年8月に、東京ビッグサイトにて開催された「日経 IR・個人投資家フェア2024」へ出展しました。

この日本最大級のIRイベントは、個人投資家と上場企業のコミュニケーションの場となっており、リアル展示会には2日間で10,000人以上が来場され、当社ブースにも、300人を超える方々にお立ち寄りいただきました。

今後も個人投資家の皆様に向けた積極的なIR活動を展開してまいります。

TOPIC 3 大阪・関西万博の催事に協賛いたします

当社は、2025年4月13日から10月13日まで開催される「大阪・関西万博」において、博覧会テーマを体現する催事「Physical Twin Symphony」や「One World, One Planet.」を実施する公益社団法人2025年日本国際博覧会協会に催事パートナーとして協賛します。

「その一歩が、未来を動かす。」をコンセプトに掲げる本催事では、人と人、人と自然、人とテクノロジーがつながり、共振・共鳴し、地球との共感覚を体験できる場を目指します。

当社は、協賛企業としてイベントの実施を支援し、国内外のお客様に楽しんでいただける場づくりに尽力します。



大阪・関西万博
公式キャラクター
ミヤクミヤク

©Expo 2025

TOPIC 4 太郎坊チャレンジ2024への参加による地域密着・活性化の推進

2024年10月19日、滋賀県東近江市の太郎坊宮で開催された「太郎坊チャレンジ2024」に、滋賀工場と管理本部に在籍する社員約20名が参加しました。

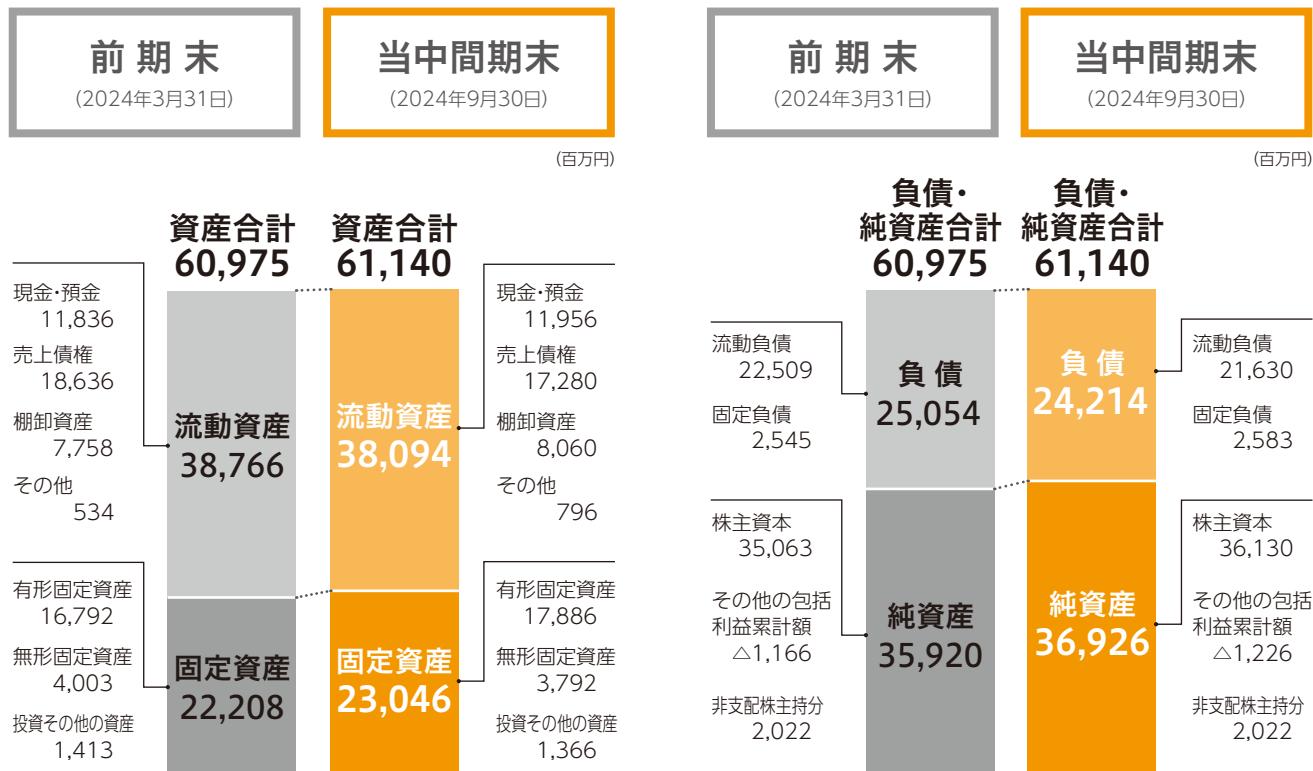
このイベントは、太郎坊宮参道中腹までの379段の石段を駆け登り、優勝者に「勝ち男」「勝ち女」の称号が与えられるもので、今回初開催となりました。

当社は、挑戦者としての参加だけでなく、スポンサーとしてもブースを出展しました。ブースではミネラルウォーターを配布し、多くの参加者に喜んでいただきました。

今後も地域に密着した宣伝活動を通じて、地域の活性化に貢献してまいります。



中間連結貸借対照表の概要



流動資産 380億94百万円(前期比△6億71百万円)

棚卸資産の増加等があったものの、売上債権の減少等により、流動資産は減少しました。

固定資産 230億46百万円(前期比+8億37百万円)

のれん等の償却による無形固定資産の減少等があったものの、有形固定資産の増加等により、固定資産は増加しました。

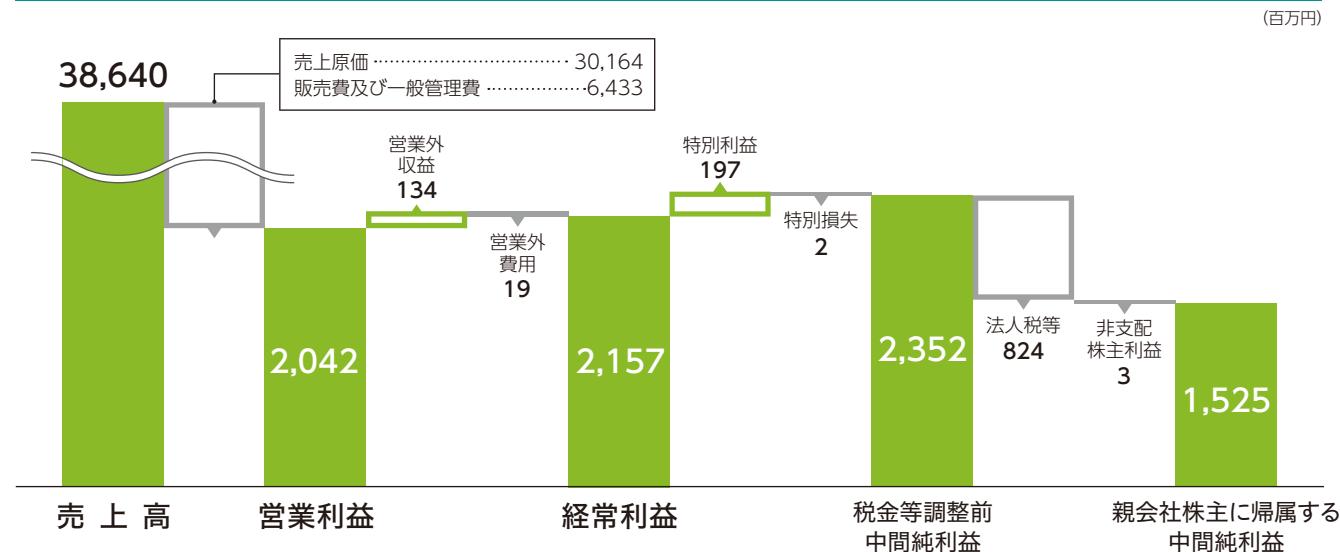
負債 242億14百万円(前期比△8億40百万円)

仕入債務及び未払法人税等の減少等を主因として、流動負債が減少したことにより、負債は減少しました。

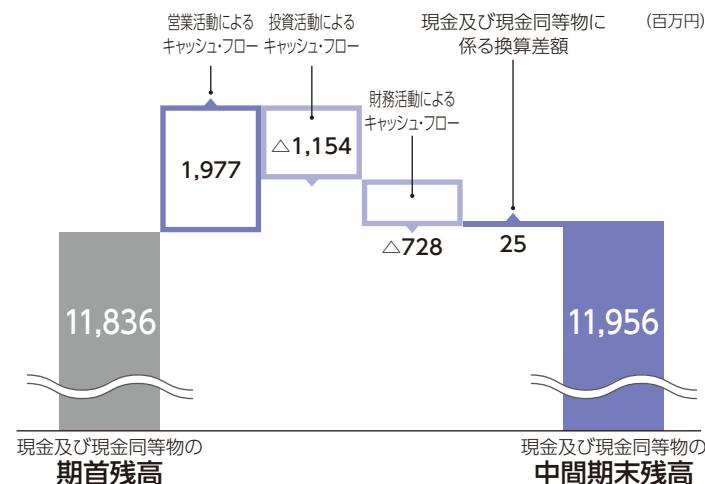
純資産 369億26百万円(前期比+10億6百万円)

剰余金の配当支払いによる減少等があったものの、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による増加等があったことにより、純資産は増加しました。

中間連結損益計算書の概要



中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要



営業活動によるキャッシュ・フロー

棚卸資産の増加302百万円、仕入債務の減少484百万円及び法人税等の支払い994百万円等により資金を使用した一方で、税金等調整前中間純利益の計上2,352百万円、減価償却費の計上633百万円及び売上債権の減少1,299百万円等により資金を獲得したことで、1,977百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得1,328百万円等により資金を使用したことで、1,154百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払い510百万円等により資金を使用したことで、728百万円の支出となりました。

会社概要

社名	コンドーテック株式会社 (英文名 KONDOTEC INC.)
本社	大阪市西区境川二丁目2番90号 TEL 06-6582-8441(代表)
東京本社	東京都江東区南砂一丁目9番3号 TEL 03-5634-2241(代表)
創業	1947年4月1日
設立	1953年1月14日
資本金	26億6,648万5千円
従業員	連結1,411名 単体819名

株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	26,344,400株
単元株式数	100株

大株主

株主名	持株数	持株比率
有限会社藤和興産	3,014千株	11.8%
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,952千株	7.6%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,554千株	6.1%
コンドーテック社員持株会	1,334千株	5.2%
大阪中小企業投資育成株式会社	1,247千株	4.9%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	900千株	3.5%
株式会社三菱UFJ銀行	753千株	2.9%
株式会社藤登興産	676千株	2.6%
近藤 雅英	664千株	2.6%
有限会社純	535千株	2.1%

(注)自己株式773千株は上記大株主には含めておりません。
また、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

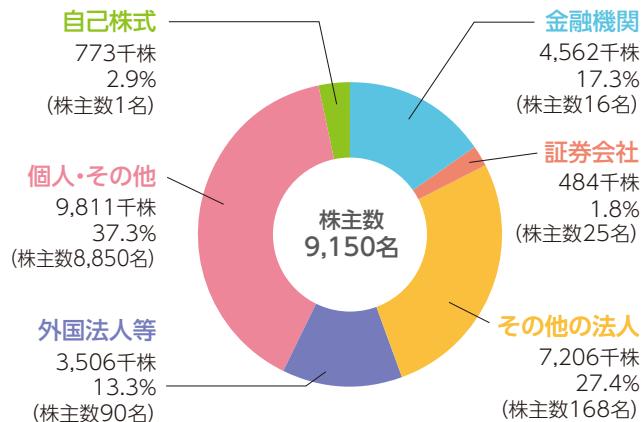
(2024年9月30日現在)

役員

代表取締役会長	近藤 勝彦
代表取締役社長	濱野 昇
専務取締役	矢田 裕之
取締役	石野 和浩
取締役	浅川 和之
取締役	古田 総一
取締役	石橋 康司
取締役	江尻 友征
社外取締役	金井 美智子
社外取締役	福井 彌一郎
取締役(常勤監査等委員)	西田 範夫
社外取締役(監査等委員)	安田 加奈
社外取締役(監査等委員)	徳田 琢
社外取締役(監査等委員)	山岡 美奈子

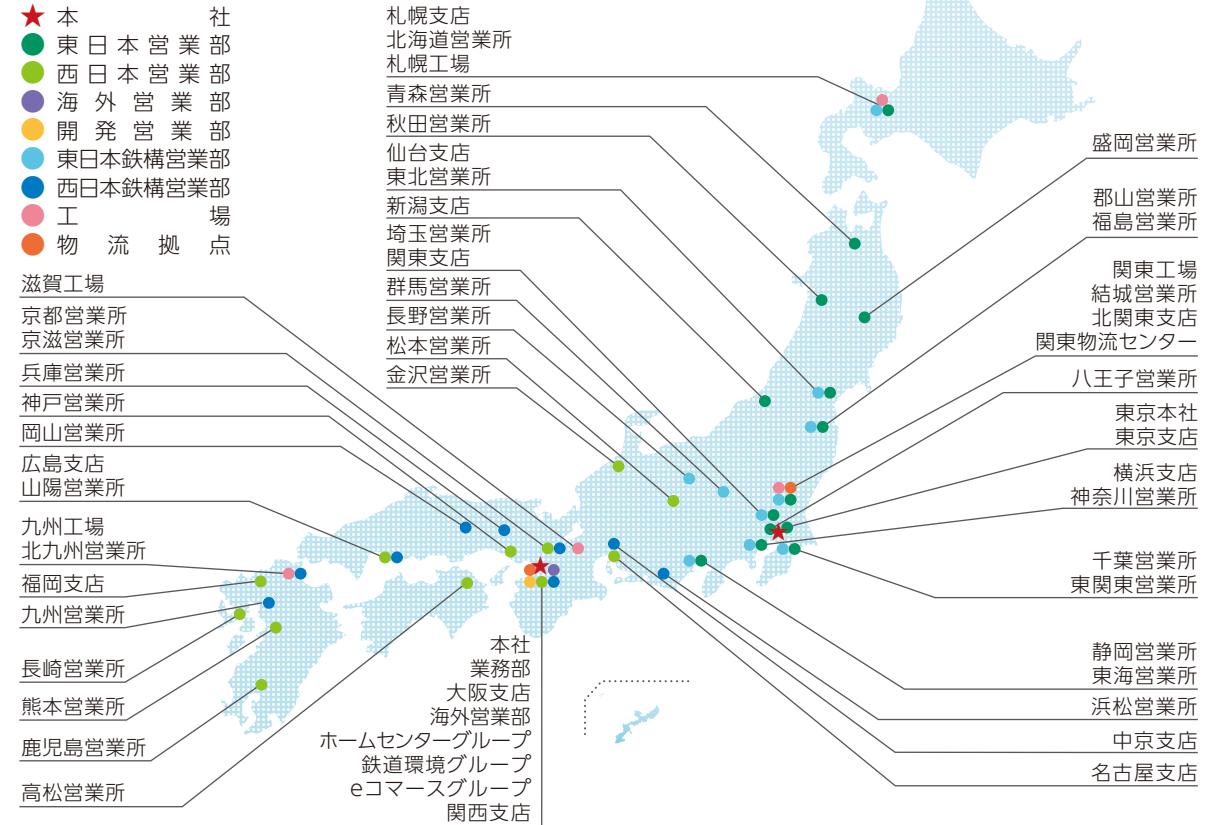
(2024年9月30日現在)

所有者別株式分布状況



当社営業拠点・工場

(2024年10月11日現在)



当社グループ会社

グループ会社名	本社所在地	営業所	工場
三和電材株式会社	名古屋市西区	12拠点	—
KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) Co., Ltd.	タイ・バンコク市	—	—
中央技研株式会社	滋賀県犬上郡	—	—
日本足場ホールディングス株式会社	東京都江東区	—	—
テックビルド株式会社	東京都大田区	17拠点	—
東海ステップ株式会社	静岡県藤枝市	15拠点	—
株式会社フコク	仙台市泉区	5拠点	—
栗山アルミ株式会社	名古屋市中村区	2拠点	1拠点
上田建設株式会社	北海道苫小牧市	—	—

株主優待のご案内

コンドーテック・プレミアム優待倶楽部

毎年3月末日現在の株主名簿に記載された当社株式5単元(500株)以上保有されている株主様を対象として、保有株式数に応じ、株主優待ポイントを贈呈いたします。

株主様の保有するポイント数に応じて、株主様限定の特設WEBサイトにおいて、食品、電化製品、旅行・体験など4,000種類以上の商品からお好みの商品を選びいただけます。

ポイント贈呈時期

毎年5月中旬頃を予定しております。

繰越条件など

繰越条件や「コンドーテック・プレミアム優待倶楽部」の詳細については右記WEBサイトよりご確認ください。

株主優待ポイント表(1ポイント≒1円)

保有株式数	贈呈される株主優待ポイント
500株～599株	3,000ポイント
600株～699株	4,000ポイント
700株～799株	5,000ポイント
800株～899株	6,000ポイント
900株～999株	7,000ポイント
1,000株以上	10,000ポイント

特設WEBサイトはこちら!

<https://kondotec.premium-yutaiclub.jp>



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場

[株式に関する住所変更等のお届出及びご照会]

証券会社でお取引をされている株主様

■郵便物送付先・電話お問い合わせ先

お取引のある証券会社になります。

※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本店及び全国各支店でお支払いいたします。

特別口座に記録されている株主様

■郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

■電話お問い合わせ先 ☎0120-094-777 (通話料無料)

■お取扱店 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店



UD FONT

2024年11月発行

当報告書には財政状態及び経営成績に関する将来予測の記述が含まれております。
この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれております。

環境に配慮した植物油インキを採用しています。
見やすく読みまがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。